

第 14 回小学生駒姫名人戦が 2023 年 8 月 5 日(土)に東京都渋谷区の千駄ヶ谷社会教育館で行われました。

この大会は

主催:公益社団法人日本将棋連盟

企画 運営 協力:日本将棋連盟女流棋士会

協賛:株式会社囲碁将棋チャンネルで行わせて頂いております。

株式会社囲碁将棋チャンネル様には近年ずっとご協賛を賜りまして大変に感謝を致しております。駒姫名人戦クラスの優勝者は囲碁・将棋チャンネル主催の霧島酒造杯女流王将戦予選のアマチュア代表の小学生枠に選ばれる可能性がございます。

クラスは駒姫名人戦クラス(有段者・希望者)と一般戦 B クラス(7 級以上)と一般戦 C クラス(8 級以下)の 3 クラスで行いました。

ご希望の声を多く頂いていたとのことで今回初めて一般戦 C クラスを作りました。参加人数は駒姫名人戦クラスが 10 名、一般戦 B クラスが 12 名、一般戦 C クラスが 22 名で全部で 44 名でした。C クラスの参加人数が一番多く、C クラスを作って良かったと思えました。ただ、倉敷王将戦と日にちを重ねてしまい、県代表になれるほど強くなった女子が数名いたのは喜ばしいのですが、小学生駒姫名人戦に参加来なかったのは残念でした。来年は小学生駒姫名人戦の日程を考え直したいと思います。今回も宮城、福島、長野、東京、神奈川、埼玉、千葉、静岡、愛知、京都、福岡、など、全国各地から選手が参加して下さいました。参加賞は大会名「駒姫」の彫駒の根付にいたしました。駒姫の字は高群佐知子女流四段が書いてくださいました。良い記念になることと思います。

優勝者、準優勝には賞状、盾、3位には賞状のほか、それぞれに賞品として女流棋士会から布扇子(扇子袋付き)が送られました。女流棋士会役員の北尾まどか女流二段が扇子を届けて応援にいらしてくださいました。

当日は、高見泰地七段もお忙しい中応援に駆けつけて下さり、ご好意で、直筆色紙 5 枚を届けて下さいました。高見七段ありがとうございました。

今回初めて親子初心者教室も行いました。お父様はご遠慮されてお子さん相手に谷川治恵女流五段が指導、お子さんも楽しまれたことと思います。

対局前に福原政則指導棋士六段からルール説明が行われました。谷川治恵女流五段の対局開始の号令で全クラス一斉に 1 回戦の対局が始まりました。

駒姫名人戦クラスはチェスクロック使用、持ち時間 10 分、切れると 1 手 30 秒の秒読決勝トーナメントは、くじを引く順番を決める 2 段階でくじを引きました。決勝トーナメントの対局は櫃の 1 寸盤と彫り駒を使って行いました。皆、「音が違う」と良い響きに目を耀かせていました。

決勝戦は昨年優勝の岩崎さん対赤松さんの対決となりました。岩崎さんは四段、赤松さんは三段だそうです。戦型は赤松さんの先手中飛車に岩崎さんは△73 銀から

△64 銀と上がる形で対抗しました。じっくりとした駒組で角みちを 30 手目にようやく△34 歩と突いたのが印象的でした。中央で銀交換をして、飛車先は交換されましたが、赤松さんは▲77 桂と桂馬をぶつけ桂交換を狙い、まだ勝負は互角だったと思います。しかし△64 歩に対し▲54 銀と指したのがあまりよくなく、すかさず△58 歩と打たれ▲同飛△69 銀▲68 飛△78 銀成▲同飛△57 桂成と桂馬を 57 に成られて苦しくなっていました。▲54 銀では 65 桂とあっさり取り、△同歩に▲53 歩△42 金(取れば 97 角の飛車、金取りの狙い筋があります。)▲34 銀なら難しい戦いが続いていたと思います。本譜は赤松さんがやや切れ模様で攻めの形を築く間に岩崎さんは先手の飛車、角を取ってしまい、豊富な持ち駒で先手玉を寄せきりました。岩崎さんが優勝し、2年連続小学生駒姫名人になりました。

一般戦 B、C クラスはチェスクロックは使わず、リーグ戦で1人 4 局ずつ指す方式で行いました。その後、来年度に向けて対局時計を使用しての交流戦を行いました。最後に高見泰地七段の色紙の抽選会を行いました。

皆さんきっと喜ばれたことと思います。来年のご参加お待ちしております。

文責 斎田晴子